

令和6年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	置賜広域行政事務組合			代表者名	理事長米沢市長 近藤 洋介
担当者部署(属性)	企画担当	担当者部署名	総務課企画財政係	連絡先電話番号	0238-23-3241
担当者役職	技師	担当者氏名	奈須野 直斗	連絡先E-mail	
住所	992-0012 山形県米沢市金池三丁目1-55				

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

団体名		連絡先部署	
担当者氏名		連絡先電話番号	
		連絡先E-mail	

1-3. 支援を求める内容

支援方法	職員向け啓発・研修（複数団体）	事業名	広域連携事業
概要	本組合を構成する3市5町（米沢市、長井市、南陽市、高畠町、川西町、白鷹町、飯豊町及び小国町）が自治体DXに取組むにあたって、自治体DXに関する知識や具体的な取組を学び、3市5町共通で取組めるDXのヒントを得られる研修とした。		
支援を求める分野	オープンデータ EBPM 人材（DXに関する知識習得・研修・育成）		

2. 地域情報化アドバイザー派遣実績

2-1. 対応日・時間	期日・支援内容の変更あり	受付番号	変更後の派遣日	変更後に実施した支援内容	実地/オンライン
	有	339	令和6年12月26日	事前打合せ	オンライン
	派遣日予定日（申請書より）	支援内容（申請書より）	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）
	令和7年1月15日	事前打合せ(オンライン)	10時00分	11時00分	
				活動時間（分）	60
2-2. 派遣場所	会場名	オンライン	最寄駅	オンライン	
	所在地	オンライン	最寄駅からの交通手段	オンライン	

3. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	下山 紗代子
評価	大変よい
上記評価の理由（どのようなところがよかったか等詳細に）	今回は、令和7年1月21日（火）に開催する一般職員向けの自治体DX研修の事前打ち合わせを目的として、当日の具体的な研修内容やプログラム、準備物について確認し、本組合構成団体のDXの取組や現状について、情報共有を行った。現状把握にあたって、デジタル庁のデータ等を用いて、DXの取組状況（進捗具合があまりよくないこと）、構成団体ごとの格差について客観的、視覚的にシンプルかつわかりやすくご教示いただき、有意義な時間となった。
アドバイザーへの要望事項	特にありません。

4. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

4-1. 支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】	合計人数	2人		
	属性	自治体職員	住民	企業・団体	その他(学生など)
	人数	2			

4-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果

事業の課題・問題点（具体的にご記入下さい）	米沢市、長井市及び南陽市ではオープンデータの取組が推進されているものの、他の5市町では、まだ、オープンデータが整備されていない。また、各市町個別にGIS及びLINEの活用も始まっているが、置賜地域全体としての取組として進んでいない。まずは、オープンデータに各市町が取組めるよう研修を通して共通認識を持ってもらいたい。
支援により目指す成果（具体的にご記入下さい）	オープンデータの利活用により、地域内だけでなく、地域外の人材・知恵も置賜地域に関わってもらえるような取組を進める。地域内外に関わらず、多様な人の知恵・技術が置賜地域に集まることにより、地域が主体的に地域課題解決に取組む土壌を醸成し、官民が一体となって地域情報化に取組むことで市民活動、ビジネス、まちづくりに役立ててもらい、地域住民の福祉の向上に寄与するもの。

アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的に記入下さい)	<ul style="list-style-type: none"> 令和7年1月21日の研修の具体的な内容、事前準備について 構成団体の全国と比較した現状について 現状を踏まえた同様の団体での取組事例 	
支援を受け改善又は解決された内容 (具体的に記入下さい)	<p>事前打ち合わせをしたことによって、講師が知る多くの事例に基づいた現状の把握、後日実施の研修目的の再認識、今後の事業推進イメージを膨らませることができた。 規模が小さい団体こそDXが重要であること、また、広域で取組むからこそ互いに補いあえる強みがあることを認識することができた。</p>	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的に記入ください)	特にありません。	
アンケートの内容と分析結果	<p>講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。) アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。</p> <p>特にありません。</p>	
4-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	③現段階では課題・問題が残っているため未定
4-4. 事業の最終的な目指す姿	<p>オープンデータの普及促進に取組むことで、支援を必要とする人の特定、住民に合わせた行政サービスの提供、事務の効率化、民間サービスの向上などが図られることを認識し、整備を行い、積極的に活用すること。</p>	
5. 報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可		
掲載許可	<input type="radio"/> 掲載可	https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past_year_all_houkoku/
<p>なおくその他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください</p>		
6. 地域情報化アドバイザー支援の様子		
今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG)」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。		
<p>「日時」 2024年12月26日10:00～11:00</p> <p>「出席者」 地域情報化アドバイザー 下山 紗代子氏 置賜広域行政事務組合職員 2名</p> <p>「打合せ内容」 自己紹介の後、本組合の組織の説明、構成している各団体のDXの取組状況について、情報共有を行い、現状の課題を共有しながら研修目的の明確化とその内容について話し合った。 その後、研修プログラムの検討、会場レイアウト及び当日の流れの確認を行った。</p> <p>「キーワード」 <ul style="list-style-type: none"> DX、AIは人口規模が小さい団体ほど使うべき ロゴチャット 単独の市町でできないことは広域で取組む 情報共有の機会は大いに 気軽に連絡をとれる関係 いらないことはやらない やめることから考える ペーパーレスはこの研修から データのカ 山形県は全国と比較してDXが進んでいない </p> <p>※なお、オンライン会議のため撮影を失念し、支援の様子がわかる写真を添付できない旨を申し添えます</p>		